

令和3年度

授業改善プラン

- I 「目黒区学力調査」の概要
- II 令和2年度「授業改善プラン」の検証
- III 「目黒区学力調査」等に基づく授業改善プラン
 - ・本校の授業改善に向けた方策（学校全体）
 - ・第1学年～第6学年

令和3年9月
目黒区立駒場小学校

I 「目黒区学力調査」の概要

1 調査の趣旨

目黒区立小・中学校の児童・生徒に「学力調査」を実施し、児童・生徒の学習状況を組織的・継続的に調査・分析するとともに、各学校の指導法やカリキュラムの改善・充実を図り、学力の定着・向上を目指す。

なお、本調査は、目黒区立小学校の第2学年～第6学年の児童及び目黒区立中学校の全学年生徒を対象に実施された。（原則として、特別支援学級に在籍する児童・生徒は対象としない）

2 調査の内容

(1) 調査の対象学年及び対象児童数（本校）

	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
対象数	66 人	69 人	58 人	87 人	80 人
実施数	66 人	68 人	58 人	87 人	79 人
受検率	100%	98%	100%	100%	98%

(2) 調査内容と実施教科

① 学習指導要領に示された目標の達成状況（観点別学習状況）

② 児童の学習に関する意識

2年 意識調査、国語、算数

3年 意識調査、国語、算数

4年 意識調査、国語、算数、理科

5年 意識調査、国語、算数、理科

6年 意識調査、国語、算数、理科、社会、英語

(3) 実施日

令和3年4月20日（火）

Ⅱ 令和２年度「授業改善プラン」の検証

(1) 成果

昨年度に引き続き、全ての学年において区の標準値を上回ったり同程度だったり、概ね満足できる状況である。特に、６年生は全般において区の標準値を大きく上回っている。

国語科の「読む能力」や「言語についての知識・理解・技能」と算数科に至っては全ての観点において、目標値を大きく上回っている。これは、少人数指導体制のもとでの指導内容改善や週４回の２０分間の学習時間（ベーシックタイム）における国語科・算数科の基礎基本の定着を図った取組みの成果と考えられる。学年が上がるにつれて、区平均、全国平均より数値が大きくなっている。今まで上位者が多く下位者も一定数いたが、どの学年も下位数が減って、目標値の上昇につながっている。

また、各教科における「基礎・活用」についても、概ね目標値を上回り十分満足な状況である。特に「活用」については、基礎・基本の力を生かして各教科の言語活動を充実させたことや、答えを導く過程を重視して指導し、発表やレポートなどで自分の考えを表出させる活動を続けていることが、思考力・判断力・表現力等の高まりに寄与したと考えられる。

(2) 課題

- ・正答率はおおむね良好であるが、２年生の国語に関しては、領域「話すこと・聞くこと」「書くこと」、観点「主体的に取り組む態度」において、区や全国平均値よりわずかに低く、これからの課題となる。
- ・教科別では、６年生の社会科において、「産業と情報の関わり」が全国平均より低く、課題となっている。新しく今年度から始まった６年生の英語では、領域「書くこと」、観点「主体的に学習に取り組む態度」が区平均より少し下回っている。ALT や英語講師との連携を密に取り、改善に努めたい。
- ・正答率が高い中ではあるが、低学年ほど区・全国平均との差が少なく、低・中学年で定着した力を維持させるための、指導の見直しやよりきめ細かい指導が必要である。

Ⅲ 目黒区学力調査等に基づく授業改善プラン

(1) 本校の授業改善に向けた方策

- ・算数科では、少人数学習指導の指導方法や指導体制を工夫し、本調査の分析をもとに個に応じた指導のさらなる充実を図る。
- ・週３～５回朝の読書タイムや図書の時間では、計画的に読書指導を行い、児童の語彙を増やしたり想像力を豊かにしたりする。また、意図的に教師による読書紹介の機会を設けるようにする。
- ・週４回午後の学習の始めに２０分間の学習時間（ベーシックタイム）を設定し、国語科・算数科の基礎・基本の定着を図ったり、「主体的に学習に取り組む態度」を育てる活動や「知識・技能」を高める課題を積極的に取り入れたりする。
- ・各教科の言語活動の充実を図るため、国語科を中心に他教科でも言語活動の充実をねらいとした校内研修会を行う。今年度も引き続き、思考力・判断力、表現力等の育成に努める。
- ・東京大学・駒場野公園等、恵まれた地域の自然環境を活用し、生活科・理科・総合的な学習の時間などの体験的な学習を充実させ、「思考力・判断力・表現力」を高める。

(2) 本校の各教科における授業改善に向けた具体的な方策

- ・算数科は、全ての学年で少人数体制を整えているので、より一層指導内容を工夫していく。その一つは、指導形態や教材開発である。学級担任と少人数担当とが調査結果を踏まえた上で指導計画を再考したり、個に応じた指導を展開したりする。
- ・国語科では、教科書や教材と照らし合わせて調査結果を分析する。また、その分析をもとに指導のあり方を再考し指導改善に努める。
- ・理科の学習では、学校で統一したノート指導を行ったり、観察などの指導では、設問や発問の工夫をしたりして、課題や視点を明確にした授業を行う体制作りを引き続き行う。
- ・下位の児童については、引き続き放課後等個別対応で基礎的な学力を付けていくよう計画・実践していく。

授業改善プラン 駒場小学校 第1学年授業改善プラン

	課 題	解決のための手だて
国 語	【領域：書くこと】 (観点：思考・判断・表現) ○経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。	・経験したことを全員で共有できるよう、書く学習の導入では共通の話題をテーマにして活動に取り組む。 ・書いたものを友だちと読み合う活動を取り入れることで、表現の仕方を学び合うとともに、相手意識をもち、伝えたいことを明確にすることができるようにする。
算 数	【領域：数学的表現と活用】 (観点：思考・判断・表現) ○加法・減法を表すキーワードを基に、問題場面を絵や図から考えることができる。	・キーワードを確実に押さえられるように板書やノート指導の工夫をするとともに、絵に加えブロックなどの半具体物を適切に用いて問題把握ができるようにする。

授業改善プラン 駒場小学校 第2学年授業改善プラン

	課 題	解決のための手だて
国 語	【領域：書くこと】 (観点：思考・判断・表現) ○自分の考えが明確になるように語と語や文と文との続き方に注意しながら文章を書いている。また、言葉遊びの決まりに合う事柄を見付けることができる。	・日記や授業後の振り返りなど、書く機会を増やす。また、書いたものをクラスで読み合えるようクラウドで共有し、良いところを感想に書き合い、意欲付けにつなげる。 ・最後まで話を聞くなど、学習規律を徹底する。 ・わくわくタイム(研究)の中で話したり聞いたりする活動を増やす。
	【領域：話すこと聞くこと】 (観点：思考・判断・表現) ○話を聞いて、内容を理解することと、そのことについて発表することができる。	
算 数	【領域：数と計算】 (観点：学びに向かう力) ○加法を適用して、順序数と集合数の文章問題を解いている。	・誰もがわかる問題から導入し、できる、分かる経験を通して授業への参加意識を高める。また、一人の児童の発表内容を他の児童にもう一度説明させるなど、問題解決の方法を理解できているか確かめながら授業を進める。

授業改善プラン 目黒区立駒場小学校 第3学年授業改善プラン

	課 題	解決のための手だて
国 語	【領域：書くこと】 （観点：思考・判断・表現） ○自分の考えが明確になるように、具体的に書くことができる。	・調べたことについて、要点を落とさずにメモを取らせる。また、下書きをさせる際には、ワークシート等を使い、文章構成が理解できるようにする。 ・文章の例を提示することにより、どのように書けば読み手に伝わりやすいのか考えさせ、自身で書く際のゴールイメージをもたせる。 ・辞書を活用し、語彙力を高めるほか、表現方法を身に付けさせる。
算 数	【領域：数と計算】 （観点：知識・技能） ○数直線上に示された数を読み取ることができる。 【領域：測定】 （観点：思考・判断・表現） ○文章から必要な情報を読み取って、時間を求めることができる。	・数直線を活用しながら、数の大小関係を視覚的に捉えさせる。また、問題練習や発展的な問題を用意することにより、学習した内容を着実に身に付けられるようにする。 ・問題作りの時間を多く設定することを通して、必要な情報と求められていることを理解できるようにする。
理 科	【領域：物質・エネルギー】 （観点：思考・判断・表現） ○課題解決的な学習方法に取り組むことができる。	・学習課題を正確に把握し、予想・実験・結果・考察という学習の流れを身に付ける学習活動を通して、物事の因果関係を論理的に捉えることができるようにする。
社 会	【領域：地理的環境と人々の生活】 （観点：知識・技能） ○社会的事象に対する興味・関心をもつことができる。 ○身近な社会的事象から観察し、考察することができる。	・地域や生活に即した体験活動を多く設定する。 ・実際に見学するだけでなく、教室で学習をする際にもICTを活用し、動画や写真を通して実感をもって学習できるようにする。 ・身近な社会的事象から、調査や観察したことについて、他者に伝えることを意識させながらパンフレット等にまとめる活動を行う。

外国語	【領域：数の伝え方】 ○数を尋ねたり、答えたりすることができる。	・歌や予想する活動、クイズ形式などゲーム性のある活動を通し、数や質問する際の言い回しを楽しみながら身に付けられるようにする。
------------	--	---

授業改善プラン 駒場小学校 第4学年授業改善プラン

	課 題	解決のための手だて
国語	【領域：話すこと・聞くこと】 (観点：思考・判断・表現) ○互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 【領域：我が国の言語文化に関する事項】 (観点：知識・技能) ○ことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。	・話し合い活動の中で、互いの意見を出し合う中で、共通点や相違点に着目する場面を設ける。 ・共通点や相違点を比較しながら、一つの結論にまとめる場面を設ける。 ・日頃より語句の由来や慣用句を取り上げ、関心を高められるようにする。
算数	【領域：図形】 (観点：知識・技能) ○直線の垂直や平行の関係を理解し、それらを活用して平行四辺形やひし形、台形の特徴について理解している。 【領域：測定】 (知識・技能) ○身近にあるものの長さや重さを推察することができる。	・問題に取り組む際に、具体物を操作したり、イラストを見たりして、問題を視覚化する。日常生活とのつながりを意識させる。 ・問題に取り組む際に、具体的な場面を想起するようにする。日常生活とのつながりを意識できるようにする。
理科	【領域：物質・エネルギー】 (観点：思考・判断・表現) ○金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わることについて、その程度には違いがあることを理解することができる。	・実験結果を基に、体積の変化と温度の変化を関係付け、金属、水及び空気の性質について推論しながら、自分の考えを表現する場面を設ける。
社会	【領域：現代社会の仕組みや働きと人々の生活】 (観点：知識・技能) ○地図や関係機関が作成した資料などで調べたり、白地図や図表にまとめたりすることができる。 【領域：現代社会の仕組みや働きと人々の生活】 (観点：思考力・判断力・表現力) ○廃棄物処理のための事業の役割について、資料をもとに表現することができる。	・棒グラフや年表、円グラフなど様々な資料を読み取り、気付いたことを書く活動を取り入れる。 ・単元のまとめとして、キーワードをもとに、自分で学習内容をまとめる活動を設定する。

外国語	【領域：数の伝え方】 ○数を尋ねたり、答えたりする。	・歌や予想する活動、クイズ形式などゲーム性のある活動を通し、数や質問する際の言い回しを楽しみながら身に付けられるようにする。
------------	--	---

授業改善プラン 駒場小学校 第5学年授業改善プラン 第5学年

	課 題	解決のための手だて
国 語	【領域：書くこと】 (観点：思考・判断・表現) ○情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約したり、自分の考えをまとめたりすることができる。 【我が国の言語文化に関する事項】 (観点：知識・技能) ○慣用句の意味を知り、正しく使うことができる。	・説明文では、要点を整理させ、他の表現に置き換えさせる設定をする。また、学習内容を自分の言葉でまとめる場面を多く設定する。 ・日頃より語句の由来や慣用句を取り上げ、関心を高められるようにする。
算 数	【領域：図形】 (観点：思考・判断・表現) ○身近にあるものの面積を推察することができる。	・問題に取り組む際に、具体的な場面を想起するようにする。日常生活とのつながりを意識できるようにする。
理 科	【領域：エネルギー】 (観点：思考・判断・表現) ○豆電球が明るくつくように、回路を作ることができる。乾電池の向きやつながり方を変えたときの、電流の向きと強さを指摘できる。	・個人で思考する時間を設定し、児童一人ひとりが自分の考えをノートに記述してから、グループでの話し合いを行う。
社 会	【領域：地理的環境と人々の生活】 (観点：思考・判断・表現) ○世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、国土の構成、領土の範囲などを総合して、我が国の国土の特色を考え、適切に表現することができる。	・地名等、覚える事柄は友だち同士で問題を出し合う場面を設定し、定着を図る。 ・複数の情報を比較・関連付け・総合して考えさせる発問を意図的に行い、根拠に基づいて説明させる。
外 国 語	【領域：書くこと】 (観点：知識・技能) ○音声を聞き、活字体の大文字・小文字を正しく書くことができる。	・学級担任やALTが発音や表現の仕方を教えるなどの個別指導を行う。

授業改善プラン 駒場小学校 第6学年授業改善プラン

	課 題	解決のための手だて
国 語	【領域：書くこと】（思考・判断・表現） ○文章全体の構成や書き表し方に着目して、文章を整えることができる。 【領域：我が国の言語文化に関する事項】（知識・技能） ○仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。	・書く活動では、読み手に分かりやすい文章にするために、友だちの文章を読み合い、アドバイスする場面を設定する。 ・文字の特質を理解し、表音文字や表意文字について整理する場面を設定する。
算 数	【領域：変化と関係】（思考・判断・表現） ○百分率を理解し、代金を求めて比較することができる。 ○百分率を理解し、式の意味を書いたものを選ぶことができる。 【領域：図形】（思考・判断・表現） ○正方形の紙を3回折って切った形が正八角形だと判断することができる。	・文章問題から立式する場面では、図や表を用いて、考えさせる習慣を付ける。 ・具体物を操作させ、文章問題で示している場面をイメージさせる。
理 科	【領域：物質・エネルギー】（思考・判断・表現） ○水の温度を下げたとき、ミョウバンの溶解度が大きく下がり、溶け残りが生じることを推測することができる。	・問題解決の場面において、どんなことを確かめるための実験方法を考えているのか確認するように指導する。
社 会	【領域：国土の自然環境と国民生活】（思考・判断・表現） ○森林の役割と保全の大切さについて理解している。 【領域：産業と情報の関わり】（思考・判断・表現） ○資料に着目して、工業がさかんな地域の特色や背景を考え、表現することができる。	・身近な問題と関連付けた内容を取り上げ、問題場面が写真や動画等で視覚的にわかるように示す。 ・単元ごとにキーワードを提示し、自分の考えをまとめさせる。
外 国 語	【領域：聞くこと】（思考・判断・表現） ○日常生活に関する対話を聞き、目的や場面、状況などを推測することができる。 【領域：書くこと】（思考・判断・表現） ○音声を聞き、活字体の小文字を正しく書くことができる。	・学級担任やALTが発音や表現の仕方を教えるなどの個別指導を行う。 ・学級担任やALTが発音や表現の仕方を教えるなどの個別指導を行う。